



教育関係者・事業者部門 消費・安全局長賞 《教育等関係者》

北海道大学大学院農学研究院・ 北海道新聞社編集局

(北海道) 活動期間 6年

親子食農体験講座『あぐり大学』

「感じる」と「考える」を 同時に追求

子供（小4～中3）とその親が「食と農」を頭と体で学ぶ体験講座です。コメや果実、牛、魚、土、水、森、化学、買い物など多彩なテーマでリアルな環境や生物を見て触り、舌で味わい、「感じる」と「考える」を同時に追求しています。講座の様子は北海道新聞で全道に伝えており、大学の「素材力」と新聞社の「発信力」が融合している活動です。



「草を食べる牛って珍しい？」講座で牛に触れる

本物に触れる 感動体験を提供

作物の栽培・収穫体験のほか、ロボットトラクター実験見学、放牧牛の見学と搾乳体験、昆虫観察、木材試験、お米の脱穀・もみすり・精米体験、道産子馬の乗馬体験、サクラマス遡上見学など多彩なプログラムを提供することにより、子供達の学びと成長に寄与しています。



ソーセージを作って食べる体験講座
「おいしい！」

大学と新聞社がタッグを組む

「食と農への道民の理解の進展」などを目的とする北海道大学農学部・北海道新聞編集局連携協力協定が基礎となり、子供たちが「食と農」の素晴らしさや大事さを実感できる食農教育プログラムを創出しました。教員と記者で構成する「チームあぐり」が運営し、テーマ毎の講師は北大の教員から選出、活動には学生もボランティアとして参加し、北海道新聞が記事化するという流れで、大学と新聞社が力を合わせ、民間とも連携しながら活動しています。



「なぜ起きる土砂災害」講座
大きな模型に興味津々の子供たち



美味しくて不思議な「食」と「生き物」。それを育てている農林水産業。「あぐり大学」は、親子がリアルな本物に接し、その面白さを発見しています。今後も多彩なメニューでパワーアップ！親子と一緒に楽しみながら学んでいきます！

「チームあぐり」一同